

【社会科の目標】		
(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		
(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・解決したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		
(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		

学習内容(予定時間数)

1 学期 (39)	2 学期 (48)	3 学期 (30)
【4月～5月】 〈歴史的分野〉 第2章 古代までの日本 ・1 節 世界の古代文明と宗教のおこり ・2 節 日本列島の誕生と大陸との交流 〈地理的分野〉 ・第1 編 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿	【8、9月～10月】 〈歴史的分野〉 第3章 中世の日本 ・2 節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開 第1章 歴史へのとびら 〈地理的分野〉 ・第2章 世界の諸地域 1 節 アジア州	【1月】 〈歴史的分野〉 ・3 節 産業の発達と幕府政治の推移 〈地理的分野〉 ・第2章 世界の諸地域 4 節 北アメリカ州
【5月～6月】 〈歴史的分野〉 ・3 節 古代国家の歩みと東アジア世界 〈地理的分野〉 第2章 日本の姿 ・第2 編 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境	【10月～11月】 〈歴史的分野〉 第4章 近世の日本 ・1 節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 〈地理的分野〉 ・第2章 世界の諸地域 2 節 ヨーロッパ州	【2月】 〈歴史的分野〉 ・3 節 産業の発達と幕府政治の推移 ・3 節 産業の発達と幕府政治の推移 〈地理的分野〉 ・第2章 世界の諸地域 5 節 南アメリカ州
【6月～7月】 〈歴史的分野〉 第3章 中世の日本 ・1 節 武士の政権の成立 〈地理的分野〉 ・第2章 世界の諸地域 1 節 アジア州	【12月】 〈地理的分野〉 ・第2章 世界の諸地域 3 節 アフリカ州 〈歴史的分野〉 ・2 節 江戸幕府の成立と対外政策	【3月】 〈歴史的分野〉 第5章 開国と近代日本の歩み ・1 節 欧米における近代化の進展 〈地理的分野〉 ・第2章 世界の諸地域 6 節 オセアニア州

評価の観点と規準 (各観点の割合はすべて達成率100%で統一する)			
	評価の観点	評価の方法・資料	評価の規準のポイント、アドバイス
I	＜知識・技能＞ 各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。	・ 単元テスト ・ 定期テスト ・ ワーク提出 ・ 夏季休業中の課題 など	〈地理的分野〉 ・ 大陸、海洋、州・国の位置、緯度・経度、時差、地図と地球儀、領域、気候区分と衣食住、宗教など、地理を学ぶための基本的な知識を理解し、習得できているか。 ・ 各州、各国の位置、気候、地形、人口、産業など世界地理の基本的な知識を理解し、習得できているか。 ・ 地図、雨温図、写真、表・グラフ・統計から各州・各国の特色を読み取り、文章にして答えることができるか。 〈歴史的分野〉 ・ 時代ごとの人々の生活の様子・産業、政治・経済、文化など歴史的分野を学ぶための基本的な知識を理解し、習得できているか。 ・ 地図、写真、図版、表・グラフ・統計から時代ごとの特色を読み取り、文章にして答えることができるか。
II	＜思考・判断・表現＞ 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。	・ 単元テスト ・ 定期テスト ・ 授業中の発言・発表 ・ 授業ノート など	〈 地理的分野 〉 ・ 各州・各国の位置、気候、地形、民族などの歴史的背景から人々の生活、産業の特色、現在および将来の課題について思考・判断・表現することができるか 〈 歴史的分野 〉 ・ 歴史的事象について、①時代・年代、②事象の内容、③原因・契機、④結果及びその後の歴史における影響の4つの点について思考・判断・表現することができるか。
III	＜主体的に学習に取り組む態度＞ 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。	・ 「知識・技能」の観点の評価 ・ 「思考・判断・表現」の観点の評価 ・ 授業中の発言・発表 ・ 授業ノート ・ ワーク提出 など	・ 「知識・技能」の観点の内容について習得するために主体的に取り組むことができているか。 ・ 「思考・判断・表現」の観点の内容について習得し、深化させるために主体的に取り組むことができているか。 ・ 授業、課題に意欲的に取り組み、自らの考えを積極的に発信することができるか。 ・ 前時の復習、次時の予習に主体的に取り組んでいるか。 ・ 自分に適した学習方法を模索し、積極的に取り組もうとしているか。

